

R7の方向性

- キャッシュレス決済導入に向けた検討
- 但馬地域全体の持続可能な交通体系の構築とシームレスな移動の実現に向けた検討
- 交通施策のキーマンとなる人材育成



【予約型乗合交通「たけの〜る」】 【関宮小さな拠点 イメージパース図】

R7の総括

- ひょうご新IC整備協議会による交通系IC導入着手
- デマンド交通や自動運転バスによる二次交通の充実
- 勉強会の開催による交通政策に係る広域連携機運の醸成



【鉄道利用促進助成事業】



【鉄道往復利用支援事業】

令和7年度の主な取組結果

1 「乗って守ろう！竹野駅ペイ」の実施

日常利用の促進

【概要】

事業内容 令和5年度実施した「JR山陰本線利用促進策ワークショップ」からの創出策として、今年度も継続実施
JR竹野駅の売上増加と地域振興を目的に、竹野駅で切符を購入された方に、購入金額に応じ**竹野地域内の観光施設、
宿泊施設、飲食店等で使用できるクーポン券（100円/1枚）を配布。**

特徴 昨年度のクーポン券の換金率約94.4% 投資が地元商店等に還流される良い施策と判断し、
令和7年度も継続して実施

実施主体 竹野地域公共交通利用促進委員会（R7予算：4,000千円）

実施期間 4月～8月末日

実施結果 【配布実績】8月31日 20,000枚配布完了【換金実績】19,088枚 換金率約95.4%

【実施状況・課題】 2025年度の乗車券類販売実績は、2年連続コロナ禍前の2019年度実績を上回った。



【チラシ】

2 トライやる・ウィーク交通費支援

日常利用の促進

【概要】

事業内容 令和5年度実施した「JR山陰本線利用促進策ワークショップ」からの創出策を実施
小中学生が公共交通に乗る「きっかけ」づくりや「地域の公共交通に対する問題意識の喚起」を
目的に、市内の中学2年生が実施する**トライやる・ウィーク**において、**体験活動先の事業所へ移動する際に公共交通を利用**してもらい、利用した**公共交通の費用支援**を実施

特徴 交通事業者と連携し、特別乗車証等を生徒に配布

実施主体 豊岡市（R7予算：340千円）

実施期間 5月～6月

実施結果 延べ101名の生徒が利用（JR22名、路線バス69名、市営バス10名）

【実施状況・課題】 市立豊岡南中学校の生徒7名、港中学校の生徒1名、日高東中学校14名がJRを利用し、市内事業所訪問につながり新たな体験機会を創出できた。

【今後の展開】 公共交通利用の意識付けとしての意義も大きいため、来年度も継続して実施予定

令和7年度の主な取組結果

3 養父市関宮小さな拠点づくり共創プラットフォーム事業

日常利用の促進

【概 要】

事業内容 養父市関宮地域における持続可能な公共交通体系の構築に向け、整備が進められている「**関宮小さな拠点**」を地域の移動手段の結節点（ターミナル拠点）として運用することを想定し、令和5年度よりデマンド交通の実証実験を実施（国土交通省「交通空白解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト（共創モデル実証運行事業）」を活用）

特 徴 関宮地域内を運行エリアとし、**路線バスの利用ニーズが少ない日中の時間帯にデマンド交通を活用**
地域の小中一貫校の登下校や部活動の地域移行に伴う移動において、**デマンド交通の車両を活用**

実施体制 養父市、NPO法人但馬を結んで育つ会、全但バス株式会社、NPO法人養父市マイカー運送ネットワーク、社会福祉法人養父市社会福祉協議会、一般財団法人日本自動車研究所、セイノーホールディングス株式会社

実施期間 11月8日（土）～1月18日（日）

実施結果 利用人数：**延べ184人**

【実施状況・課題】 令和6年度より予約配車アプリを導入し、有償にて実施
（1乗車 運賃400円～1,000円 高齢者等半額割引あり）

【今後の展開】 令和9年4月からの本格実装を目指す



【デマンド交通車両】

4 自動運転バス実証事業

日常利用の促進

【概 要】

事業内容 養父市では、高齢者等の移動手段の確保やバス等の運転手不足などへの対応策の1つとして、自動運転バスの導入について検討を進めており、令和6年度から実証実験を実施（国土交通省「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装事業）」を活用）

特 徴 JR八鹿駅を出発点とするルートとし、**新モビリティを活用して日常利用の利便性向上と2次交通の利用促進による観光客の増加を目指す**

実施体制 養父市、BOLDLY（株）、全但バス（株）、やぶ市観光協会

実施期間 11月19日（水）～2月20日（金）

実施結果 利用人数：**延べ324人**

【実施状況・課題】 今年度は車両を1台増やし、運行ルートを道の駅ようか但馬蔵まで延長
運行ダイヤを昨年度の4往復8便から6往復12便に増便
画像認識機能の追加等の車両アップデートを実施

【今後の展開】 自動運転の技術面、社会受容性、経営面を評価検証しながら、将来的なレベル4運行を見据えた地域交通の構築を目指す



【自動運転バス車両】

令和7年度の主な取組結果

5 鉄道利用促進助成事業

日常利用の促進

【概 要】

事業内容 香美町在住者を対象に町内5つの駅（佐津、柴山、香住、鎧、餘部）を発着として**2名以上で往復**する場合の**利用料金**（運賃及び特急料金など）の**半額を助成**する。
※JR営業距離に応じた助成上限あり

実施主体 香美町（R7予算：約2,000千円）

実施期間 令和7年度

実施結果 申請：**231件**、利用者：**558名**、助成金合計：**約1,622千円**（3月末日時点）

【実施状況・課題】 昨年度同期に比較し申請件数は**130.5%**（R6-177件）利用者数は**142.0%**（R6-393人）、助成金は**134.6%**（R6-1,205千円）と増加している。

【今後の展開】 引き続き町民への周知を行い、利用者の増加を図る。



6 鉄道往復利用支援事業

日常利用の促進

【概 要】

事業内容 町民が浜坂駅を発着駅として、豊岡（城崎温泉）駅又は鳥取駅を往復利用する場合に、**片道分の乗車券及び鉄道ノベルティを配布**

特 徴 JR山陰線の鉄道運行の持続的な確保と利便性の向上を図るため、町民の鉄道利用増加、路線維持に対する意識高揚を目的とする。

実施主体 新温泉町（R7予算：130千円）

実施期間 3月18日、3月19日、3月28日、3月29日（計4日実施）

実施結果 利用者：**延べ 38名**（うち子ども3名）

【実施状況・課題】 春休み期間（出かけやすい時期）に実施した。町民に対し、鉄道の魅力をアピールすることができた。



【昨年度事業実施の様子】



【鉄道ノベルティ】

令和7年度の主な取組結果

7 鉄道往復団体利用支援事業

日常利用の促進

【概 要】

事業内容 10人以上20人以内で町民の方のみの団体が、浜坂駅を発着駅として豊岡（城崎温泉）駅または鳥取駅までの間を**鉄道で往復利用**した場合に**片道分の乗車券を配布**する。

特 徴 団体でのレクリエーション等に利用できる。

実施主体 新温泉町（R7予算：130千円※鉄道往復利用支援事業と同予算）

実施期間 3月1日～31日のうち利用希望日

実施結果 利用者：1団体（延べ 11名）



【昨年度事業実施の様子】

【実施状況・課題】 春休み期間（出かけやすい時期）に実施した。町民に対し、鉄道の魅力をアピールすることができた。

8 特急はまかぜ利用助成金交付事業

日常利用の促進

【概 要】

事業内容 町民が特急**はまかぜ**を利用した際の**乗車券等の運賃を助成**

特 徴 特急はまかぜの利用促進を図る。

実施主体 新温泉町（R7予算：1,050千円）

実施期間 令和7年度

実施結果 利用者：延べ 370名（3月末時点）
（令和6年度利用者：延べ 344名）



【実施状況・課題】 町民が移動手段で鉄道（特急はまかぜ）を選択するきっかけとなった。

【今後の展開】 新規利用者を確保できるよう、広報・周知に努める。

【広報チラシ】

令和7年度の主な取組結果

9 特急はまかぜ「ちょい乗り」事業

日常利用の促進

【概要】

事業内容 10人以内（1人でも可）の町民の方が、**浜坂駅から鳥取駅まで特急はまかぜを利用**する場合に**片道分の特急券を配布**する。

特徴 乗車券料金のみで特急はまかぜに乗車できる

実施主体 新温泉町（R7予算：129千円）

実施期間 3月18日、3月19日、3月28日、3月29日（計4日実施）

実施結果 利用者：延べ 10名（うち子ども4名）



【昨年度事業実施の様子】

【実施状況・課題】 春休み期間（出かけやすい時期）に実施した。町民に対し、鉄道の魅力をアピールすることができた。

10 町民ふれあいの旅事業

観光需要の増加

【概要】

事業内容 特急**はまかぜを利用した町民ふれあいの旅**を実施
（美しい風景と歴史を巡る山代温泉2日間の旅）

特徴 町民の親睦と鉄道の利用促進を図る。

実施主体 マックトラベルサービス（共同企画：新温泉町）（R7予算：430千円）

実施期間 6月20日～21日

実施結果 参加者：20名



【本年度事業実施の様子】

【実施状況・課題】 石川県を訪れ、町民の親睦及び鉄道の利用促進を図ることができた。

令和7年度の主な取組結果

11 JRローカル線駅周辺活性化モデル事業

観光需要の増加

日常利用の促進

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 駅周辺活性化の取組を行う事業者、地域団体等に対する事業費の補助

特徴 JRローカル線の駅舎や駅周辺の遊休不動産等を活用し、駅周辺に人の流れや賑わいを生み出す事業者、自治会等の地域団体、学校等の取組を支援することにより、駅周辺の活力や魅力を向上させ、利用拡大を図る。

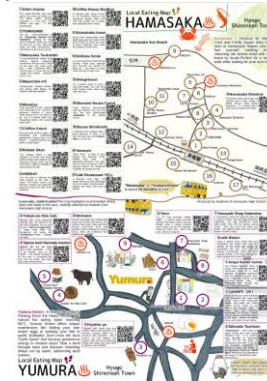
実施主体 兵庫県（市町協調）（R7予算：200千円×2）

実施期間 令和7年度

実施結果 浜坂高等学校「浜坂高校生がつくる『食べ歩きMAP』プロジェクト」を採択

【実施状況・課題】 浜坂駅・湯村温泉エリアを対象に、汽車やバスの待ち時間を活用した“食べ歩き”や“立ち寄り”を促進する食べ歩きMAPを作成。

【今後の展開】 モデル事業開始より3年が経過し、活動団体が一定、地域に根差したと考えられる。
次年度は全県的なPR活動に努める。



【食べ歩きMAP】

12 乗って守ろう！山陰本線「浜坂・香住・竹野駅ペイ」の実施

観光需要の増加

日常利用の促進

【概要】

事業内容 新温泉町浜坂地域、香美町香住地域及び豊岡市竹野地域内の観光施設、宿泊施設、飲食店等で使用できるクーポン券（100円/1枚）を配布

特徴 豊岡市竹野駅にて実施されていた「乗って守ろう！竹野駅ペイ」の手法を新温泉町・香美町に拡大

実施主体 但馬地域鉄道利便性向上対策協議会（R7予算：1,767千円）

実施期間 9月1日～2月28日

実施結果 【配布実績】10,428枚配布 【換金実績】9,462枚 換金率約90.7%

【実施状況・課題】 駅によってクーポン配布方法が異なり、配布実績に偏りはあったものの、沿線市民の意識醸成といった効果があったと考えられる。

【今後の展開】 市町単独事業としての実施を検討中。



【ロゴマーク】

令和7年度の主な取組結果

13 兵庫県・鳥取県の鉄道利用促進連携事業【新】

観光需要の増加

日常利用の促進

【概要】

事業内容 鳥取県東部地域鉄道利用促進実行委員会と連携して、JR山陰本線・特急はまかぜの利用を促進するキャンペーン「山陰本線で行く！ごほうび鉄道旅！」を実施

特徴 乗車特典の提供により、豊岡～青谷駅間の県境を跨いだ列車の利用を促す

実施主体 鳥取県東部地域鉄道利用促進実行委員会・但馬地域鉄道利便性向上対策協議会

実施期間 12月13日～2月23日

実施結果 応募件数：189件（普通列車利用 104件、特急はまかぜ利用 85件）

【実施状況・課題】

【今後の展開】 鳥取県とは令和5年度より連携して企画を実施しており、引き続き鳥取県との連携を図る。



【チラシ】

14 但馬地域における公共交通の利便増進に向けた人材育成事業【新】

観光需要の増加

日常利用の促進

【概要】

事業内容 各ステークホルダーや既存ネットワークで顕在化している課題の共有と解決に向けた方策、「持続可能な公共交通体系」の方向性を整理し、広域連携を主導できる人材を育成する。

実施主体 但馬地域鉄道利便性向上対策協議会（R7予算：14,769千円）

実施期間 令和7年度

実施結果 国交省「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト「モビリティ人材育成事業」の交付決定を受け、全4回にわたる但馬地域公共交通勉強会を実施した（10月24日、11月19日、12月11日、1月28日）。

【実施状況・課題】 但馬地域の交通課題を整理するため、各市町・交通事業者等が各種統計データの分析に取り組んだ。

【今後の展開】 勉強会の成果を報告書としてとりまとめ、今後の地域公共交通のあり方を検討する際にマニュアルとしても活用できるようにする。また、公共交通フォーラムを開催し、地域へもその内容を広める。

令和7年度の主な取組結果

15 WESTERへの情報集約

観光需要の増加

【概要】

事業内容 各自治体からご提供いただいた沿線の観光スポットやイベント情報を、JR西日本アプリ「WESTER」に集約して積極的に情報を発信する。

実施主体 JR西日本、沿線自治体

実施期間 通年

実施結果 豊岡市：スポット39件、イベント24件
養父市：スポット12件、イベント16件
朝来市：スポット15件、イベント15件
香美町：スポット14件、イベント7件
新温泉町：スポット11件、イベント16件

【実施状況・課題】 イベント情報を掲載。



16 かに力二はまかぜ・はなあかりの運行

観光需要の増加

【概要】

事業内容 臨時特急「かに力二はまかぜ」に「地域の華を列車に集め、お客様と地域の縁を結ぶ列車」をコンセプトにした観光列車「はなあかり」を増結した。

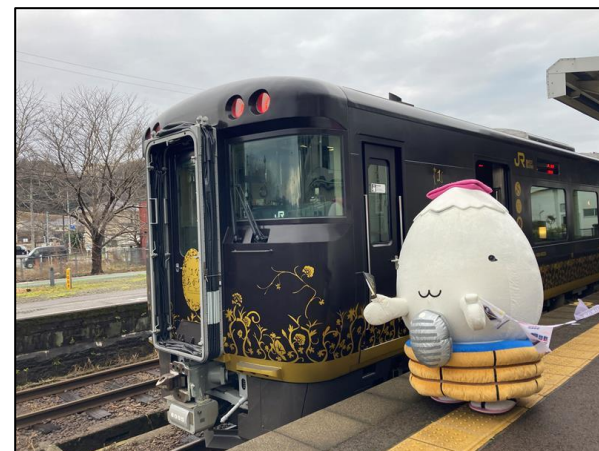
特徴 車内で兵庫県内の工芸品・アート作品を展示

実施主体 JR西日本

実施期間 1月5日～3月8日の月・金・土・日曜日

【実施状況・課題】 新聞やテレビで紹介。

【今後の展開】 観光列車等を通じて、地域の魅力を発信。



【昨年度の様子】

令和7年度の主な取組結果

17 利用促進リーフレットの作成【新】

観光需要の増加

【概 要】

事業内容 普段鉄道をご利用されていない住民の皆さまに向けて、沿線のお出かけスポット、施設と共に山陰線(城崎温泉～浜坂)の置かれている現状を知っていただくことで利用促進に繋げるリーフレットを作成した。

実施主体 JR西日本、沿線自治体

実施期間 6月～3月

【今後の展開】

- ・年度末に公共施設等に配架。



18 ご利用実態調査【新】

観光需要の増加

【概 要】

事業内容 乗車駅・降車駅、目的、利用頻度、二次交通等についてのアンケート調査を実施した。併せて、ノベルティを配布し、鉄道利用の呼びかけを実施した。

実施主体 JR西日本

実施期間 9月18日(木)、19日(金)、20日(土)、21日(日)

実施結果 アンケート獲得数=996人、獲得率=32.6%

- ・平均乗車人数/日(平日843.5人、休日690.5人)
- ・最大乗車人数/1列車(平日124人、休日73人)

【実施状況・課題】

- ・鉄道をご利用されていない地域の方々への利用促進の呼びかけが必要。

【今後の展開】

- ・昨年度、今年度のご利用実態調査の結果をまとめ、山陰線(城崎温泉～浜坂)の現状分析に活用。



令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
「乗って守ろう！竹野駅ペイ」の実施	竹野地域内の観光施設、宿泊施設、飲食店等で使用できるクーポン券(100円/1枚)を配布	4,000千円	竹野地域公共交通利用促進委員会	●		
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】4月～8月 【実施状況・課題】8月末20,000枚配布完了し、19,088枚換金 換金率95.4% 【今後の展開】来年度については市単独で継続実施予定					
トライやる・ウィーク交通費支援	トライやる・ウィークにおいて、体験活動先の事業所へ移動する際の公共交通機関を利用した際の費用を支援	340千円	豊岡市	●		
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】5月～6月 【実施状況・課題】延べ101名の生徒が利用(JR22名、路線バス69名、市営バス10名) 【今後の展開】来年度も継続して実施予定					
竹野駅乗車券類等簡易委託販売業務	竹野駅での乗車券類の販売、日常清掃業務、利用者の利便性向上に資する業務	2,280千円	豊岡市 (一社)たけの観光協会	●		
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】4月～3月 【実施状況・課題】2025年度の乗車券類実績は、2年連続コロナ禍前の2019年度実績を上回った。 【今後の展開】今後も継続して実施予定					

11

令和 7 年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
市職員公共交通利用	市職員の市内移動、域内出張に公共交通機関を利用	150千円	豊岡市	●		
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 4月～3月 【実施状況・課題】 利用：43件延べ70名 【今後の展開】 今後も継続して実施予定					
e通勤プロジェクト	公共交通機関を利用した通勤の推奨	—	豊岡市	●		
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 4月～3月 【実施状況・課題】 82名 対象者の5.3% 【今後の展開】 今後も継続して実施予定					
募集型企画旅行の実施	地元住民を対象に特急列車を利用した募集型企画旅行を月1回程度実施	—	竹野駅を愛する会		●	
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 4月～3月現在 【実施状況・課題】 参加者：250名 【今後の展開】 今後も継続して実施予定					

12

令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
養父市関宮小さな拠点づくり 共創プラットフォーム事業	市が進める「関宮小さな拠点」を、地域の移動手段と路線バスとの結節点として運用することを想定し、旧関宮地域の交通体系を検討する中で、デマンド交通実証実験を実施	27,304千円 (予算総額) 4,722千円 (養父市負担分)	養父市 交通事業者等			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 利用人数：延べ184人 【期間】 11月8日～1月18日 【実施状況・課題】 令和6年度より予約配車アプリを導入し、有償にて実施（1乗車 運賃400円～1,000円 高齢者等半額割引あり） 【今後の展開】 令和8年度も引き続き実証実験を行い、令和9年4月からの本格実装を目指す			●		
自動運転バス実証実験	自動運転バスの導入により新たな交通体系の在り方を検討	63,750千円	養父市 BOLDLY(株) 全但バス(株) やぶ市観光協会			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 利用人数：延べ324人 【期間】 12月19日～2月20日 【実施状況・課題】 今年度は車両を1台増やし、運行ルートを道の駅ようか但馬蔵まで延長 運行ダイヤを昨年度の4往復6便から6往復12便に増便 画像認識機能の追加等の車両アップデートを実施 【今後の展開】 自動運転の技術面、社会受容性、経営面を評価検証しながら、将来的なレベル4運行を見据えた地域交通の構築を目指す			●		
鉄道利用促進助成事業	香住町在住者が町内5駅を発着として2名以上で往復する場合の利用料金の半額を助成	2,000千円	香美町			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 申請：231件、利用者：558名、助成金：約1,622千円(3月末日時点) 【期間】 4月1日～3月31日 【実施状況・課題】 昨年度同期に比較し申請件数は130.5%（R6-177件）利用者数は142.0%（R6-393人）、助成金は134.6%（R6-1,205千円）と増加している。 【今後の展開】 引き続き町民への周知を行い利用者の増加を図る。			●		

令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
職員公共交通利用出張事業	職員が出張を行う際に、公共交通を利用（鉄道、航空機、高速バス）することで公共交通の利用促進を図る。	876千円	新温泉町	●		
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】利用者：延べ108名(令和6年度：202名) 【期間】令和7年度 【実施状況・課題】町職員の出張に伴う鉄道利用促進に寄与することができた。 【今後の展開】引き続き事業継続するとともに、町職員に対し積極的な利用を呼びかける。					
鉄道往復利用支援事業	浜坂駅を発着駅として豊岡(城崎温泉)駅又は鳥取駅を往復利用時の片道乗車券とハルティ配布	130千円	新温泉町	●		
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】利用者：延べ38名（うち子ども3名） 【期間】3月18日、3月19日、3月28日、3月29日(計4日実施予定) 【実施状況・課題】春休み期間（出かけやすい時期）に実施した。町民に対し、鉄道の魅力をアピールすることができた。					
鉄道往復団体利用支援事業	10人以上20人以内で町民の方のみの団体が浜坂駅を発着駅として豊岡(城崎温泉)駅または鳥取駅までの間を往復利用した場合に片道分の乗車券を配布	130千円 ※鉄道往復利用支援事業と同予算	新温泉町	●		
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】利用者：1団体 【期間】3月1日～31日のうち利用希望日 【実施状況・課題】春休み期間（出かけやすい時期）に実施した。町民に対し、鉄道の魅力をアピールすることができた。					

14

令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
特急はまかぜ利用助成金交付事業	町民が特急はまかぜを利用時の乗車券等の運賃を助成	1,050千円	新温泉町	●		
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 利用者：延べ370名 (令和6年度時点利用者：延べ344名) 【期間】 令和7年度 【実施状況・課題】 町民が移動手段で鉄道(特急はまかぜ)を選択するきっかけとなった。 【今後の展開】 新規利用者を確保できるよう、広報・周知に努める。					
特急はまかぜ「ちょい乗り」事業	10人以内の町民が浜坂駅から鳥取駅まで特急はまかぜ号を利用する場合に片道分の乗車券を配布	129千円	新温泉町	●		
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 利用者：延べ10名(うち子ども4名) 【期間】 3月18日、3月19日、3月28日、3月29日(計4日実施) 【実施状況・課題】 春休み期間(出かけやすい時期)に実施した。町民に対し、鉄道の魅力をアピールすることができた。					
町民ふれあいの旅事業	特急はまかぜを利用した町民ふれあいの旅(美しい風景と歴史を巡る山代温泉2日間の旅)	430千円	マクトラベルサービス 新温泉町	●		
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 参加者：20名(令和6年度参加者：27名) 【期間】 6月20日～21日 【実施状況・課題】 石川県に行き、町民の親睦および鉄道の利用促進を図ることができた。					

15

令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
デマンド型乗合交通の活用 （播但線再掲）	市内全域で導入されたデマンド型乗合交通を活用し、2次交通の充実を図る。	128,605千円	朝来市			
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 令和7年4月1日からの和田山・山東エリアの試験運行開始により市内全域での運行完了。年間延べ42,991人が利用。 【今後の展開】 鉄道・バスへの乗り継ぎ利用の周知等、より効果的な運行を目指す。			●	●	●
情報発信 （播但線再掲）	ケーブルテレビや市広報誌、SNSなどの情報媒体を使った情報発信	—	朝来市			
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 市公共交通情報誌「あさごナビ」の発行や、市HPを活用し、各種公共交通施策に関する情報発信を実施した。 【今後の展開】 引き続き情報発信を継続する。			●		●
利用促進 （播但線再掲）	市民・行政・交通事業者の3者が一体となった利用促進（市職員による利用促進の取組など）	—	朝来市			
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 通年での公共交通通勤や、出張での公共交通利用の奨励等、利用促進の取組を実施した。 【今後の展開】 市民全体の活動となるように引き続き実施する。			●	●	●
【拡】駅周辺整備事業 （播但線再掲）	駅利用者の利便性向上のため、和田山駅南ロータリーを整備。	13,000千円	朝来市			
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 駅南ロータリー（R7.11）を整備完了・供用開始。 【今後の展開】 引き続き駅周辺の環境整備を図る。			●		●

令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
豊岡車両基地見学会の実施	地域住民(子ども)を対象に豊岡駅構内の車両基地見学会を実施	150千円	但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●		
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】11月1日 【実施状況・課題】但馬地域内各小学校にチラシを配布し、213名(うち子ども97名)の参加があった。 【今後の展開】令和8年度も引き続き実施予定					
【新】「乗って守ろう！山陰本線『浜坂・香住・竹野駅ペイ』」の実施	新温泉町浜坂地域、香美町香住地域及び豊岡市竹野地域内の観光施設、宿泊施設、飲食店等で使用できるクーポン券(100円/1枚)を配布	1,767千円	但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●	●	
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】9月1日～2月28日 【実施状況・課題】配布実績：10,428枚配布 換金実績：9,462枚 換金率約90.7% 【今後の展開】市町単独事業として実施を検討中。					
【新】兵庫県・鳥取県の鉄道利用促進 連携事業	鳥取県東部地域鉄道利用促進実行委員会と連携して、JR山陰本線・特急はまかぜの利用を促進するキャンペーンを実施	200千円	但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●	●	
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】「山陰本線で行く！ごほうび鉄道旅！」 【期間】12月13日～2月23日 【実施状況・課題】応募件数：189件 (普通列車利用 104件、特急はまかぜ利用 85件) 【今後の展開】引き続き鳥取県との連携を図る。					

17

令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
【新】但馬地域における公共交通の 利便増進に向けた人材育成事業	各ステークホルダーや既存ネットワークで顕在化している課題の共有と解決に向けた方策、「持続可能な公共交通体系」の方向性を整理し、広域連携を主導できる人財を育成する。 また、乗継の利便性向上、運賃収受方法の統一化、共通運賃制度等を念頭に置いた連携の可能性を検討する。 （「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト「モビリティ人材育成事業」（国庫10/10）を活用）	14,769千円	但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●	●	
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】 【期間】 令和7年度 【実施状況・課題】 国交省より交付決定を受け、全4回にわたる但馬地域公共交通勉強会を実施した（10月24日、11月19日、12月11日、1月28日）。 【今後の展開】 勉強会の成果を報告書としてとりまとめ、今後の地域公共交通のあり方を検討する際にマニュアルとしても活用できるようにする。 また、公共交通フォーラムを開催し、地域へもその内容を広める。					
レンタサイクル利用補助事業	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者の2次交通を充実	450千円	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会 但馬地域鉄道利便性向上対策協議会 等			
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】 【期間】 4月13日～11月30日 【実施状況・課題】 全体で1,092名の利用があり、多数の鉄道利用に繋がった。 【今後の展開】 令和7年度は但馬・鳥取空港と連携することで、大阪・関西万博来訪者や首都圏からの観光客等を地域に呼び込んだ。今後も、鉄道利用促進に繋がるよう、空港との連携を進める。				●	

令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
1 日乗車券500円観光バス 「たじまわる」の運行	JR各駅等と観光地を結ぶ1日乗車券500円観光バス「たじまわる」の継続運行を軸に、主要観光地の2次交通を確保。ガイド無料や観光施設入館無料等、立ち寄り先での特別体験を企画	15,180千円	但馬観光協議会			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 利用者：1,928名（昨年度比較372人減少） 【期間】 令和7年4月1日～令和8年3月31日 【実施状況・課題】 但馬外での周知が不足していると思われるため、SNS等を活用したPRが課題。 【今後の展開】 4月以降、「たじまわる」の乗車料金改定および運行ルートの見直しを行ったことから、内容の周知を徹底するとともに、観光客への情報発信を強化し、1便当たりの利用者増加を図る。 また、9年度の運行に向け、ルート内容等は引き続き検討を行う予定であり、乗車料金改定後も「たじまわる」の利用者満足度を維持できるよう努める。				●	
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業	JRローカル線の駅舎や駅周辺の遊休不動産等を活用し、駅周辺に人の流れや賑わいを生み出す事業者、自治会等の地域団体、学校等の取組を支援することにより、駅周辺の活力や魅力を向上させ、利用拡大を図る。	200千円×2	兵庫県 (市町協調)			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 浜坂高等学校「浜坂高校生がつくる『食べ歩きMAP』プロジェクト」を採択 【期間】 令和7年度 【実施状況・課題】 浜坂駅・湯村温泉エリアを対象に、自動車やバスの待ち時間を活用した“食べ歩き”や“立ち寄り”を促進する食べ歩きMAPを作成。 【今後の展開】 モデル事業開始より3年が経過し、活動団体が一定、地域に根差したと考えられる。次年度は実施せず、全県的なPR活動に努める。			●	●	●
【新】FPデジタルスタンプラリー	但馬のFP等の周遊を促すデジタルスタンプラリーを実施し、各FPの魅力を体感してもらう。	1,163千円	兵庫県 (但馬県民局)			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 11月1日～1月31日 【実施状況・課題】 総参加者数85名 【今後の展開】 チェックポイントに鉄道利用を加える等、鉄道利用促進と但馬への集客・周遊を促す手法を検討。				●	

令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
但馬観光の将来を見据えた地域内周遊の促進	大阪・関西万博やワールドマスタースゲームズ関西を契機に発展を目指す地域コンテンツへ観光客を送客する2次交通手段の確保や、今後の運行に向けた検証・検討のため、交通事業者が実施する周遊観光に資する事業に対し、事業費の一部を支援し観光地と公共交通機関を結ぶ2次交通の充実を推進	1,000千円	兵庫県 (但馬県民局)			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 令和8年2月21日～3月22日 【実施状況・課題】 鉄道駅から観光地を繋ぐデマンドバスの実証運行を実施。城崎温泉・但馬空港から出石へ移動でき、完全貸切予約制で最大6名まで乗車可能。上記期間中の乗車実績は合計5名。課題としては、このようなデマンドバスが運行していることをもっと広く周知することだと考えられる。 【今後の展開】 実証運行の結果を基に、内容の磨きあげに向けた検討を行う。				●	
WESTERへの情報集約	各自治体からご提供いただいた沿線の観光スポットやイベント情報を、JR西日本アプリ「WESTER」に集約して情報発信	—	JR西日本 各自治体			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 登録スポット数 91件、登録イベント数 78件 【期間】 通年 【実施状況・課題】 イベント情報を掲載。				●	
観光情報誌「西Navi」を通じた地域のイベント情報の発信	JR西日本全エリアの駅に配架されている西Naviを通じて、地域のイベント情報を発信	—	JR西日本			
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 「湯村の火祭り」（8月号）、「城崎秋まつり」（10月号）、「香住松葉がにまつり」（11月号）を西Naviに掲載 【今後の展開】 今後も地域から頂いたイベント情報を掲載				●	

令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
【新】はなあかりの運行 （かに力二はまかぜ増結）	臨時特急「かに力二はまかぜ」に沿線地域の工芸品・アート作品を展示した観光列車「はなあかり」を増結	—	JR西日本			
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】 【期間】 1月5日～3月8日の月・金・土・日曜日 【実施状況・課題】 新聞やテレビで紹介。 【今後の展開】 観光列車等を通じて、地域の魅力を発信。				●	
【新】利用促進リーフレットの作成	普段鉄道をご利用されていない住民の皆さまに向けて、沿線のお出かけスポット、施設と共に山陰線(城崎温泉～浜坂)の置かれている現状を知っていただくことで利用促進に繋げるリーフレットを作成	—	JR西日本			
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】 年度末に配架予定 【期間】 6月～3月 【今後の展開】 年度末に公共施設等に配架。				●	
【新】ご利用実態調査	乗車駅・降車駅、目的、利用頻度、二次交通等についてのアンケート調査を実施。併せて、山陰線ノベルティを配布し、鉄道利用の呼びかけを実施	—	JR西日本			
（実施結果・今後の展開等）	【実施結果】 【期間】 9月18日（木）、19日（金）、20日（土）、21日（日） 【実施状況・課題】 鉄道をご利用されていない地域の方々への利用促進の呼びかけが必要 【今後の展開】 昨年度、今年度のご利用実態調査の結果をまとめ、播但線（寺前～和田山）の現状分析に活用。				●	

令和7年度の取組結果（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
沿線行事のP R	沿線行事のポスター・パンフレット等を駅に掲出	—	JR西日本		●	
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 通年 【実施状況・課題】 多くのお客様の目に留まる駅等で掲出。 【今後の展開】 今後も可能な範囲で協力。					
【新】週末開催！西日本じまん市	万博開催期間中にJR西日本と地域が連携し、大阪駅、新大阪駅を舞台に地域の魅力を発信	—	JR西日本 各自治体		●	
(実施結果・今後の展開等)	【実施結果】 【期間】 5月18日、9月7日 【実施状況・課題】 大阪駅「暁の広場」にて、豊岡市のご当地キャラクター「玄武洞の玄さん」を招き、玄武洞のVR体験や、但馬・播磨の魅力を伝えるフォトスポット設置やクイズを実施。					

R8の方向性

- 路線バスのキャッシュレス決済システム導入
- 観光資源を活用した沿線地域周遊の促進
- 交通資源確保のための施策検討



【レンタサイクル利用補助事業】



【交通系ICカード対応 バス車載器】



【但馬周遊観光バス「たじまわる」】



【余部鉄橋利活用検討会】

令和8年度を取組検討項目（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
JR山陰本線利用促進事業	①「乗って守ろう！竹野駅ペイ」実施事業 JR竹野駅で切符等を購入した利用者に対して、購入金額に応じた額面のクーポン券(100円/1枚)を配布（発行予定枚数：25,000枚、上限2,000円のクーポン券）し、竹野地域内の観光施設、宿泊施設、飲食店等で利用できる取組み ②山陰本線周遊サイクルトレインスタンプラリー事業 JR山陰本線（城崎温泉駅～竹野駅間）において、サイクルトレインとスタンプラリーを組み合わせた周遊観光を促進 ③桜のライトアップイベント事業（4月） ④イルミネーションライトアップイベント事業（12月～1月）	4,623千円	竹野地域公共交通利用促進委員会	●	●	
トライやる・ウィーク交通費支援	トライやる・ウィークにおいて、体験活動先の事業所へ移動する際の公共交通機関を利用した際の費用を支援	377千円	豊岡市	●		
竹野駅乗車券類等簡易委託販売業務	竹野駅での乗車券類の販売、日常清掃業務、利用者の利便性向上に資する業務	2,280千円	豊岡市 (一社)たけの観光協会	●		
市職員公共交通利用	市職員の市内移動、域内出張に公共交通機関を利用	150千円	豊岡市	●		
e通勤プロジェクト	公共交通機関を利用した通勤の推奨	—	豊岡市	●		
募集型企画旅行の実施	地元住民を対象に特急列車を利用した募集型企画旅行を月1回程度実施	—	竹野駅を愛する会		●	

令和 8 年度の取組検討項目（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
養父市関宮小さな拠点づくり 共創プラットフォーム事業	市が進める「関宮小さな拠点」を、地域の移動手段と路線バスとの結節点として運用することを想定し、旧関宮地域の交通体系を検討する中で、デマンド交通実証実験を実施	22,257千円 (予算総額) 7,500千円 (養父市負担分)	養父市 交通事業者等	●		
鉄道利用促進助成事業	香美町在住者が町内 5 駅を発着として 2 名以上で往復する場合の利用料金の半額を助成	2,000千円	香美町	●		
【新】浜坂駅ペイ事業	浜坂駅で乗車券などを購入し、町内の駅で乗車もしくは降車した方へ、乗車券などの購入金額に応じて、駅周辺店舗で利用可能なクーポン券を配布	695千円	新温泉町	●	●	
職員公共交通利用出張	職員の出張について、特急はまかぜを利用して出張することにより、鉄道の利用促進を図る	859千円	新温泉町	●		
特急はまかぜ利用助成金事業	町民が特急はまかぜを利用(町内にある 4 つの駅から大阪駅までの運行区間内)した場合に利用に係る乗車券や特急券の購入費用を助成	945千円	新温泉町	●		

令和 8 年度の取組検討項目（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
デマンド型乗合交通の活用 （播但線再掲）	市内全域で導入されたデマンド型乗合交通を活用し、2次交通の充実を図る。	128,504千円	朝来市	●	●	●
情報発信 （播但線再掲）	ケーブルテレビや市広報誌、SNSなどの情報媒体を使った情報発信の実施	—	朝来市	●		●
利用促進 （播但線再掲）	市民・行政・交通事業者の3者が一体となった利用促進の実施(市職員による利用促進の取組など)	—	朝来市	●	●	●
JR和田山駅周辺整備事業 （播但線再掲）	JR和田山駅周辺において、南北自由通路並びに駅北側ロータリーの基本設計を実施し、和田山駅利用者の利便性向上に向けて調整を進める。	—	朝来市	●		●

令和8年度の取組検討項目（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
豊岡車両基地見学会	地域住民(子ども)を対象に豊岡駅構内の車両基地見学会を実施	750千円	但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●		
【新】但馬地域公共交通 フォーラム	令和7年度但馬地域公共交通勉強会の成果を地域全体に周知するため、公共交通の重要性を再認識する場として、有識者を招いた講演・パネルディスカッションの実施を検討中。		但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●	●	
【新】山陰本線・播但線フォト コンテスト	JR山陰本線沿線地域の魅力が伝わる写真を募集し、フォトコンテストを開催する。		但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●	●	
レンタサイクル利用補助事業	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者の2次アクセスを充実 【期間】8月～11月		兵庫県但馬・鳥取 県東部地域の交通・観光連携協議 会 但馬地域鉄道利便性向上対策協議会 等		●	
但馬周遊観光バス 「たじまわる」の運行	○JR各駅等と観光地を結ぶガイド付き観光バス「たじまわる」の運行を軸に、主要観光地の二次交通を確保 ○ガイド無料や観光施設入館割引など、立ち寄り先での特別体験を企画	12,904千円	但馬観光協議会		●	
【新】山陰海岸・麒麟の町の 魅力向上に関する啓発活動及 び意見交換	JR大阪駅にて、香美町・新温泉町・岩美町の首長出席のもと、山陰海岸の知名度向上及び夏季の誘客促進を目的とした啓発活動を実施する。また、更なる観光誘客について意見交換を行う。	—	但馬広域事務組合		●	

令和8年度の取組検討項目（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
【新】JRローカル線利用促進イベントにかかる効果検証アンケートの実施	令和7年度JRローカル線維持・利用促進協議会において、「利用促進事業の効果検証が必要」との意見が出たことをふまえ、利用促進イベント開催時における参加者へのアンケートを実施	—	各イベント主催団体	●	●	
【新】播但貫く、周遊型・謎解きスタンプラリー	中播磨・但馬地域でフィールドパビリオンや観光地を巡る謎解きスタンプラリーを実施。鉄道利用をスタンプ獲得条件にする等の利用促進の仕掛けを検討している。	5,434千円	兵庫県 （但馬県民局・中播磨県民センター）		●	
【新】余部鉄橋利活用検討会の設置	有識者、地元関係者、鉄道事業者、行政で構成する検討会において、余部鉄橋の修繕方法や工事中の観光利用など、保存・活用方策を検討し、更なる利活用促進を図る。	—	兵庫県 （但馬県民局）		●	●
観光情報誌「西Navi」を通じた地域のイベント情報の発信	JR西日本全エリアの駅に配架されている西Naviを通じて、地域のイベント情報を発信	—	JR西日本		●	
かに力二はまかぜの運行(予定)	冬季に臨時特急「かに力二はまかぜ」を運行	—	JR西日本		●	
沿線行事のPR	沿線行事のポスター・パンフレット等を駅に掲出	—	JR西日本		●	